

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和6年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立古淵デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人たけのうち福祉会
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に貢献するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地：相模原市南区古淵4-24-1 古淵住宅1階 延床面積：398.13㎡（機械室除く） 主な施設：作業及び日常動作訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、ボランティア活動室 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 開所時間：午前8時15分から午後5時15分まで 休所日：日曜日及び土曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで） 定員数：25名
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数合計（人）	4,760	5,891	5,567	5,499	4,780
うち要支援1（人）	20	0	0	0	0
うち要支援2（人）	507	434	150	161	91
うち要介護1（人）	1,946	2,215	1,825	1,547	1,448
うち要介護2（人）	776	1,671	1,556	2,002	1,923
うち要介護3（人）	781	813	1,204	1,211	661
うち要介護4（人）	545	334	714	537	580
うち要介護5（人）	185	424	118	41	77
介護保険事業収入（円）	51,703,914	66,140,287	62,984,418	59,527,027	57,498,845

### 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の達成度は90.3%であり、評価基準により「B」評価とした。</li> <li>・施設の廃止が決まっている中、重度の方の受入れが昨年度より増加している点については評価できるが、目標値には達していない。</li> <li>・昨年度より達成度は減少しているが、ホームページ、ブログ、YouTube及び新聞など、様々な媒体を活用した情報提供を積極的に行った点を評価する。</li> </ul>

指標 1	
指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	年間利用者数 ÷（1年間の営業日数 × 利用者定員数） ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（%）	74.1	92.0	87.3	85.9	81.7
達成度（%）	81.9%	101.7%	96.5%	94.9%	90.3%

※制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になる。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となり、令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整している。

### 4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施状況の達成度は92.9%であり、評価基準により「B」評価とした。</li> <li>・昨年度と比較して外出機能訓練及び買物・外食機能訓練ともに回数が増加し、自分で選択する喜びや誰かの役に立つという喜び等を感じられる内容となっており、主体性の向上や社会参加につながっていると考えられる。</li> <li>・地域の方や多世代との交流を取り入れた事業の実施を期待する。</li> <li>・利用者の個々のファイルを作り、好みに合う脳トレーニングを実施したことは、認知機能の予防にもつながる取組であり、評価できる。</li> </ul>

市が指定する事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
外出機能訓練	4/10.11 1/11	大沼神社へ初詣と花見に出かけました。お仲間と一緒に お参りやお花見をする為に、支援を受けながら長い 参道や階段の歩行訓練が出来ました。参加人数：61 名	○

買物・外食機能訓練	①6/20. 24 7/3. 4. 5 ②10/23. 24 11/5. 8 ③11/13. 14. 15	初夏におやつ外出、秋には外食と買い物の希望があったため、行きたい方を選んでいただきました。  ①おやつ外食 おやつは近隣の和風ファミリーレストランへ行き、初夏らしいデザートを楽しみながら普段は席が近くない方ともお話が弾んでいました。 ②外食 秋は新そばを食べに行きましたが、他にも美味しそうなメニューがあり、選ぶことも楽しめました。駐車場から店内の歩行、また、会計をすることで社会的リハビリを実施しました。 ③買物ツアー 買い物はボランティアを要請し、マンツーマンで見たいフロアへ行きました。買い物は家族が支援している方が殆どであるため、自分で選ぶ楽しみを感じてもらえました。ご自分で選ぶことが難しい方はご家族から頼まれたものを買うことで役に立つ喜びも感じてもらえました。  参加人数：①②③64名	○
敬老会	9/18. 19. 20	1年間の活動内容や職員と撮った笑顔の写真を歌に合わせて曜日ごとのスライドショーにし、みんなで鑑賞しました。厳選した今年の一曲「美しい星」を流し、スライドショーのあと職員が考えた振り付け（体操）をしながら歌を歌いました。職員から一人一人に感謝の言葉とプレゼントを渡しました。毎日違うボランティアを依頼し、あおばこども園の子供達もお祝いに来て歌や踊りを披露してくれました。子供達からのプレゼントをもらって普段以上の笑顔になられ、感動している方もいました。厨房からは特別なお祝い膳が出され、蓋を開けた際には歓声があがっていました。 参加人数：70名	○
運動会	10/7. 8. 9	紅白に分かれて歩行競争や立位保持競争、毛糸巻き巻きお馬さん競争などの競技を行いました。実習生も一緒にいき、応援にも熱が入って笑い声が絶えない時間となりました。 参加人数：71名	○
クリスマス会	12/18. 20 2/6 (12/19が休所になったため)	クリスマス特別メニューの昼食とコーラで、この施設で迎える最後のクリスマスと新しい施設での幸せを祈って乾杯しました。毎日違うボランティアの方に来ていただき、演奏や歌を楽しんでいただきました。12/19はインフルエンザの感染予防のために休所となったため、2/6にも同内容で実施しました。 参加人数：61名	○
すいとん作り	2/5. 11	利用者全員で作業を分担し、おやつとして提供した。 参加人数40名	○

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
社会貢献活動（バザー）	-	イオン相模原店が改装工事のため、場所や時期を検討しましたが、今年度は中止としました。中止の旨、ホームページ、Instagramにて発信しました。	△

※施設の設置目的に即して利用者のための活動を適切に実施していれば「○」、その中で、特に市立施設であるという特性を鑑み、地域住民が参加できる多世代間交流や地域活動の促進に繋がる事業については、広がりのある取組として評価し「◎」と評価する。

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の満足度の達成度は92.4%であり、評価基準により「B」評価とした。</li> <li>・利用者満足度調査において「利用者への説明」の項目の評価が昨年度と比較して上昇しており、利用者や家族に対し、丁寧な説明があったことがうかがえる。</li> </ul>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会に委託した無記名アンケートを期間中に利用実績のある利用者50人に配布し、回収は30人（回収率60.0%）。実績値（満足度）はアンケートによる事業所の総合評価点（実施日：令和7年1月20日）
目標値の基準	平成29年度から令和3年度に実施した5年間の各市立デイサービスセンターにおける利用者満足度調査の実績値の平均

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	89.1	89.1	88.3	88.3	88.3
実績値（%）	80.1	83.2	78.9	82.3	81.6
達成度（%）	89.9%	93.4%	89.4%	93.2%	92.4%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	利用者・ご家族・訪問者からの意見を常時募集。玄関に設置。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人全体の経営状況に特段の課題はないものの、施設の全体収支、事業収支がともに赤字となったため、評価基準により「B」評価とした。</li> <li>令和6年度の資金収支計算書では、収支で約5,500千円の赤字決算であったが、前期末支払資金残高が約54,000千円であることを考慮すると、経営状況については現状、大きな課題はないものと考えられる。</li> </ul>

施設の収支概要	※直近3年間について記載 (千円)		
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入 (a)	63,219	59,716	57,826
介護報酬等	50,926	48,830	46,864
利用者負担金等	11,132	10,451	10,015
その他の収入	1,161	435	948
支出 (b)	57,448	59,229	63,277
人件費	44,752	44,949	49,040
事業費	7,547	8,293	9,453
事務費	5,054	5,779	4,561
その他支出	95	208	222
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	5,771	487	-5,450
自主事業収入 (d)	249	206	0
自主事業支出 (e)	249	206	0
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	0	0	0
事業活動収支 [(c)+(f)] (g)	5,771	487	-5,450
施設整備等収入 (h)	0	0	0
施設整備等支出 (i)	187	0	0
施設整備等収支 [(h)-(i)] (j)	-187	0	0
その他収入 (k)	700	0	0
その他支出 (l)	6,761	364	321
その他収支 [(k)-(l)] (m)	-6,061	-364	-321
全体収支 [(g)+(j)+(m)]	-477	123	-5,771
備考	▽前年度の比較 減収は利用者減によるもの。 ▽収入(その他) 市からの「指定管理者制度導入施設支援金」620,000円を含む。 ▽その他支出 321,000円は退職給付引当資産によるもの(人件費及び備品等購入積立資産支出なし) ※各費目で千円未満を四捨五入して表記しているため、各項目の合計及び収支の計算は一致しない。		

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和7年2月13日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

企画提案事業の中で残念だったのは、長年継続出来てきた地域の皆様との合同支援バザーが開催できなかったことです。予定通りイオン様に日時の予約をした際にパブリックスペースの改装があることを知りました。年度を終えなければどのような改装になるのかはわからないとのことだった為、近隣の場所を問い合わせてみましたが、どの商業施設も高額な賃料が発生することから開催困難となりました。地域の方々にはHPやInstagram他でお伝えするしかありませんでした。

また、1年前に廃止の決定を受けたことで、ご利用中の皆様や勤務する職員のサービス継続と雇用継続に向けて急ピッチで検討し動かなければならない年でもありました。近隣の土地や賃貸物件等を探しましたが見つからず、たけのうちこども園が地域の子供達のために使用していた3階を改装するしかないという苦渋の決断をし、こども園にも苦勞をかけながらの動きとなりました。

業者との打ち合わせからお迎えできる状態にするまでを、古淵デイサービスセンターの営業と同時にするというハードなスケジュールとなりましたが、ご利用者も職員も希望される方は誰ひとり残さず新たな場所でサービスの継続が出来たことに法人として誇らしく感じています。

## 10 所管課意見

・利用者の心身機能の維持を図るだけでなく、季節に応じた取組を積極的に行い、利用者を楽しみを与えたこと、また、利用者自らが選択できる喜びを感じられるような取組を行ったことを評価する。

・令和6年度は、施設の廃止に伴う様々な対応が求められた。利用者の新たな受入れ先の開設について、当施設の運営と並行した対応に苦勞があったものと推測するが、指定期間内に利用者がサービスを受けられなくなる期間なく、新しい居場所として施設を開設し、スムーズに利用者の移行を行った。同じ法人で、同じスタッフによる運営は環境変化による利用者の負担を最小限に抑え、安定したサービス提供と雇用の確保を図るものであり、改めて深く感謝申し上げたい。

## 11 選考委員会意見

・法人全体の経営状況について、特段の課題はなく、健全経営に取り組んでいた。

・利用者が自ら選択する喜びや誰かの役に立つという喜びを感じられるような事業に取り組んだ点を評価する。日常においては自らが金銭を支払う機会が減っていく中、支援を受けながらも利用者自ら買い物をする機会を設けることは、社会との繋がりを感じられ、達成感につながるものと考えられる。

・畑を稼働させ、一部の利用者が自ら作業をし、多くの利用者が収穫できるよう支援した点、また、畑で収穫した野菜を使用して利用者へ提供した点について評価する。畑での作業は自然に触れる喜びを感じる機会となり、自ら収穫したものを食事として提供されることで達成感を感じられる取組であると考えられる。

・施設職員間で利用者に対し、より良いサービスが提供できるよう、定期的な話し合いの場を設けたこと、また、職員間の連絡手段を工夫し、情報共有や意見交換を円滑に行ったことで、情報を漏れなく迅速に把握することができていた。課題の早期対応ができ、より良いサービス提供につながる環境整備が図られていた点を評価する。利用者満足度調査においても「細かな変化でも連絡をもらえる」として、事業所の良い点として具体的に評価されており、このような密な情報共有が日々の利用者への丁寧な対応に生かされていたと考えられる。

### 総合評価（自動判定）

**B**

(55/100)

